



2021 CSR報告書 カボウプラス

CSR: Corporate Social Responsibility

新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりに貢献します。



企業理念

カンボウプラスは
新しい価値の創造を通じて
豊かな社会づくりに貢献します。

CSR基本方針

カンボウプラスは「社会との共生」、「お客様との共生」、「従業員との共生」を目指し、メーカーの責務として、環境に配慮し、お客様のニーズに応えた安全で高品質な製品の提供を通じて社会に貢献します。

CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	6
その他のかかわり	9
ISO26000対照表	12

カンボウプラスの概要

代表者	代表取締役社長 中村信治
設立	1939年3月24日
資本金	10億2,030万円
決算月	3月
従業員	166人
主要事業	1. ファイバー（繊維）とプラスチック（樹脂）の複合化によるキャンバスの製造と販売 2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した製品の販売 3. 一級建築士事務所 建築物・工作物の設計・施工
事業所	本社、東京支店、福井工場
外部認証	福井工場 ISO9001、ISO14001

「新」しいモノ・コト「加」えるヒラメキを

「品質」にこだわり商品開発を進めていく

(ご挨拶)

平素よりカンボウプラスをお引き立ていただき、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大による影響が世界各地に広がっています。1日も早い終息を願うとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

(2020年度を振り返って)

2020年度を振り返りますと、新型コロナウイルスによる社会情勢の変化に迷わされた1年であったのではないのでしょうか。当初は海外のことと軽く感じられた事象でしたが、入国者からの感染が原因か日本各地で重症者が発生しました。

政府の感染防止策の自粛要請は、人とモノの流れを止めた結果、経済活動を急速に減退させ、当社も大幅な影響を受けました。

(Withコロナ・Afterコロナ)

カンボウプラスでは新型コロナウイルス感染症対策商品の一つとして、内部を陰圧に保つことにより、ウイルスの拡散を防止する陰圧式テント「エアマイスター」を開発、販売を開始しました。空気を注入するだけで簡単に設営できるため、発熱外来や臨時医療施設などで利用されています。Withコロナの中、カンボウプラスでは、リモートワークを一部実施させていただきました。今後も感染予防と経済活動の両立を考え、Afterコロナ期に備え、コロナ禍前に発せられた「働き方改革」にも真剣に対応し、変化する社会に対応できる強い会社を築き上げていきます。

(品質にこだわった商品開発を)

近年、企業を取り巻く環境も大きく変化し、世界的にも環境問題がクローズアップされています。カンボウプラスもESG(環境・社会・ガバナンス)投資を意識し、SDGs(持続可能な開発目標)経営に取り組む時代となりました。社会の一員として、どのような取り組みができるのかを考え、その実現に向けて取り組んでいきます。皆さまのお役に立てるように商品開発だけでなく、安心して使用していただけるように「品質」にもこだわっていきますので、よろしくお願いいたします。

このたび2020年度の活動をまとめた『2021 CSR報告書』
を発行いたしました。

皆さまの忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

代表取締役社長 **中村信治**



当社商品のご紹介

新型コロナウイルス感染症対策商品

新型コロナウイルス感染拡大を受け、当社でも感染対策に向けた商品の開発及び販売に注力しました。また当社のお取引先にもご協力いただき、各種感染対策商品の取り扱いも開始しました。

■「エアマイスター」 PCR 検査など臨時医療施設として

エアー注入で簡単に設営できる陰圧式テント。付属品の陰圧機を使用することでテント内の気圧を外部より低い状態にすることができ、室内の空気は HEPA フィルターで浄化され外部に排出されます。

(外寸) 幅 5.0m× 奥行 6.5m× 高さ 3.3m



■フロアシート

ワクチン接種会場向けの出荷が急増しました。床面を傷や汚れから守る目的で使用されています。



■使い捨て透明マスク

口元が見えることでコミュニケーションが阻害されにくい透明マスクは、店舗や作業現場で活用されています。



■ソーシャルディスタンス用 グランシャルシート

元々は道案内などで使用されている商品ですが、印刷内容を変えることでソーシャルディスタンスの注意喚起としても活躍しています。



■透明パーティション

主に事務所の応接室や待ち受け場所で使用されるパーティションも当社で取り扱っています。





設計・施工業務

当社は一級建築士事務所としての機能も併せ持ち、設計から材料供給まで幅広くお客様のニーズに対応しているのが強みです。LED ビジョンなどの看板に関しては設計から現場施工まで当社で請け負うことができます。

■ LED ビジョン

六本木交差点にあるビルの壁面部分に当社が設計・施工した LED ビジョンが設置されました。幅 10.5m× 高さ 3.75m の大型 LED ビジョンは、六本木の街に様々な情報を発信し、より良い街づくりに寄与しています。



■ テント倉庫

一級建築士事務所である当社は膜材料の製造・販売だけでなく、テント倉庫の設計もしています。写真のテント倉庫は当社オリジナルの酸化チタン膜材料「**ダイナスター Dynastar**。」を使用しており、光触媒効果によるセルフリニューアルシステムの防汚性能を有しています。

場 所：三重県四日市市某所

サ イ ズ：幅 14m× 長さ 27m× 高さ 4.9m

使用生地：酸化チタン膜材料「**ダイナスター Dynastar**。」



品質方針

福井工場は、全員の責任と役割を明確にし、お客様の満足度向上に努める。
 福井工場は、法令を遵守し、社会的規範となる。
 福井工場は、設定した品質目標を達成させ、かつ継続的に改善する。
 福井工場は、品質マネジメントシステムの有効性を定期的に見直す。

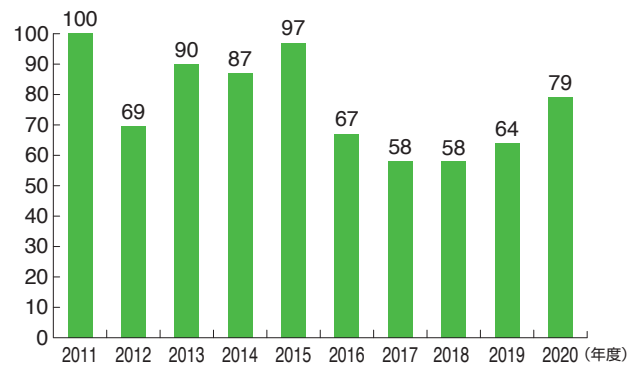
苦情発生状況

2020年度は苦情件数増加の傾向に歯止めをかけることができず、多方面のお客様にご迷惑とご心配をおかけしました。特に検査工程からの欠点の流出が多い結果でした。

当社の製品をお客様に安心して使用していただけるよう、苦情発生の原因を一つ一つ見極め、確実に改善を進めていきます。

苦情発生件数推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。



小集団活動

福井工場では安全性、生産性の向上、品質向上のために班長を中心にグループになり、作業標準書の更新を行っています。

労災ゼロを目指し、KY活動やリスクアセスメントの作成、第三者の目線で危険箇所を発見するために、安全パトロールを実施し、より安全な職場にする活動にも積極的に取り組んでいます。





環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

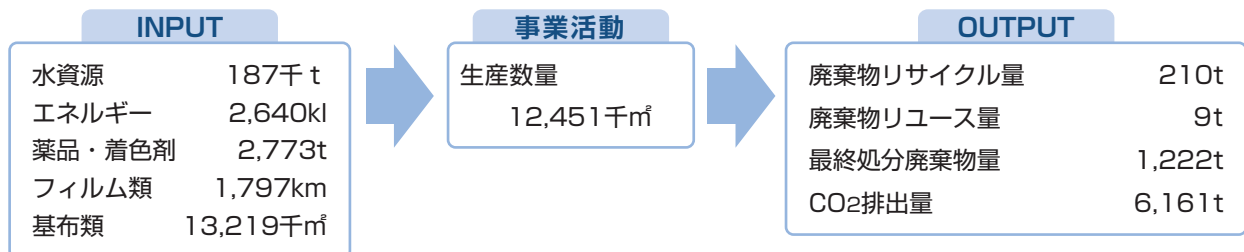
『環境基本方針』

当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

1. 当社は、地域社会と協調し、対話を大切に、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
2. 当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
3. 定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
4. 当社の事業活動に関係する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
5. 当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
6. 環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
7. 環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、インターネットを含めすべての人に公表します。

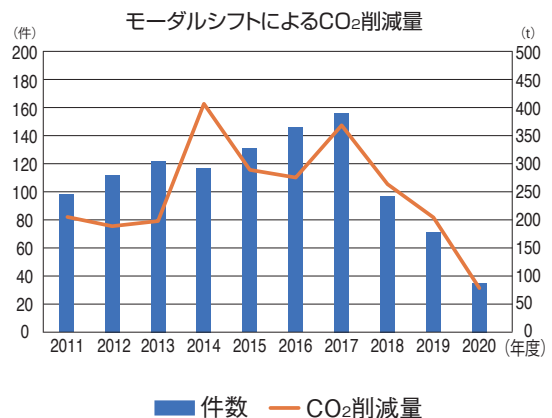
事業活動における環境負荷(福井工場)



地球温暖化防止への取り組み

トラック輸送よりCO₂排出量が少ないJRコンテナを利用したモーダルシフトを実施していますが、昨今、1回あたりの出荷量減によりコンテナ利用可能数に達するケースが少なくなりCO₂削減量も減少しています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の蔓延にともない物流活動も停滞気味となり、さらに減少する結果となりました。少ない機会の中でもモーダルシフトの活動は継続して実施していきます。





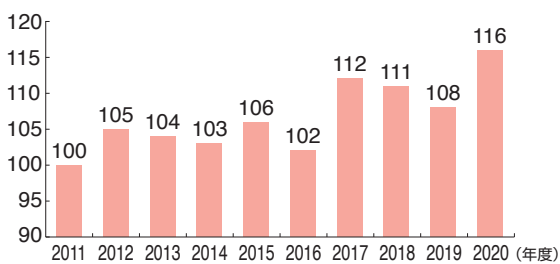
エネルギー消費量とCO₂排出量

排煙処理装置のプロセスファン、暑熱対策冷風装置の給気ファンにインバーターを設置したり、生産設備の照明をLED蛍光灯へ変更更新したりと省エネルギー化を図りましたが、2020年度新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う経済活動の減退により弊社も大きな減産調整を実施したため、生産量に応じたエネルギー消費量の比較指数は大幅に悪化しました。

今後もインバーターなどの省エネ設備導入を進めていき、再生エネルギー、燃料転換などの情報収集・調査・研究を進めていきます。

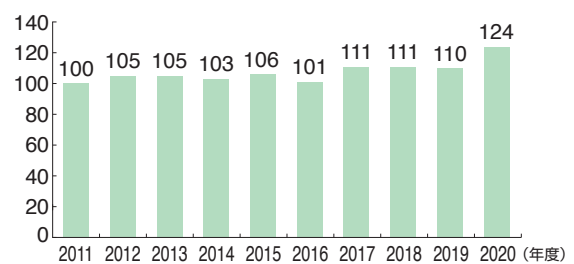
エネルギー消費量原単位推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。



CO₂排出量原単位推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。

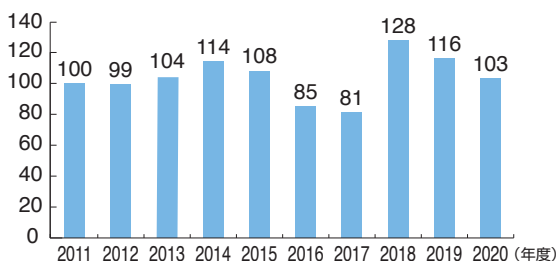


廃棄物削減への取り組み

昨年度に比べ生産数量の減少に伴い、最終処分廃棄物量・リサイクル・リユース量が減少しています。より細かな紙ごみ分別回収（リサイクル）など取り組んできましたが、まだ埋立処理などの排出物が多く、廃棄物再生によるリユース化への取り組みを推進していきます。

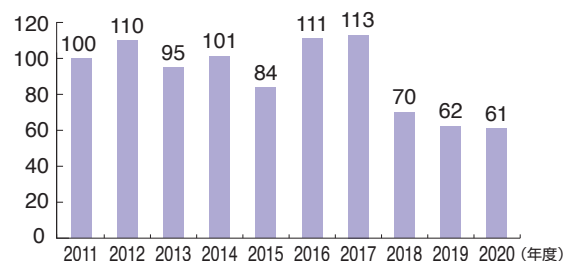
最終処分廃棄物量推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。



リサイクル・リユース量推移

(注) 2011年度を100とした場合の指数表示となっています。



PRTR法への対応

PRTR制度では第一種指定化学物質の環境へ排出される量（排出量）及び対象物質を含む廃棄物が事業所外へ移動される量（移動量）について届け出ることになっています。

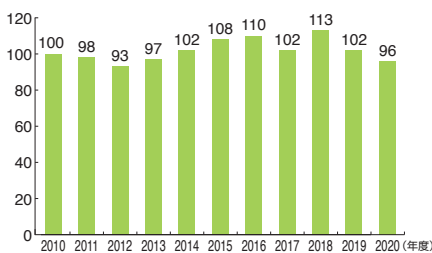
2020年度のPRTR対象物質の取扱量は指数換算で前年度より約6%減少しました。これはPRTR対象物質の一つである可塑剤フタル酸ビス（2-エチルヘシキル）の使用の置き換えが進んだためです。2021年度も引き続き置き換えを進め、最終的には全廃する計画です。

一方、PRTR対象物質の取扱量は減少しましたが、移動量は増加しています。

これは、生産量に対しての廃棄物量の指数が大きくなっているため、急激な減産調整が影響しています。廃棄物削減の活動についても引き続き実施していきます。

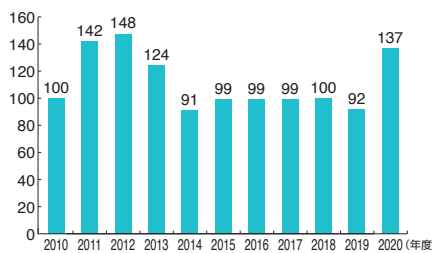
PRTR対象物質取扱量推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



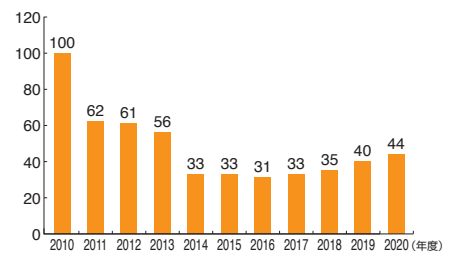
PRTR対象物質移動量推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



PRTR対象物質排出量推移

(注) 2010年度を100とした場合の指数表示となっています。



環境負荷低減製品開発への取り組み

お客様からの環境配慮の要望は、新製品のみならず、これまで提供した製品の仕様変更といった形で増えています。さまざまな要望に合わせて、使用する材料の変更を進めるとともに、安全安心の観点からグリーン材料での製品設計も進めています。

グリーン推進活動

2020年度も「第11回ニチバン巻心ECOプロジェクト」に参加し、感謝状をいただきました。

また、ペットボトル キャップの回収を行い、特定非営利活動法人エコ・ワクチン協会を協同して、プラスチックとして再利用することによって得た利益をワクチン購入代金として支援する活動（エコキャップ回収運動）にも参加しています。今後も継続して活動を行ってまいります。



カンボウプラスは事業所周辺の美化活動を継続的に実施しています。2020年度は、「大阪市一斉清掃“クリーンUP”作戦」に参加し、空き缶や吸い殻などのゴミ拾いを行いました。



従業員への教育

人材育成を経営重要課題と考え、職種別研修、階層別研修、自己啓発のための通信教育支援などを実施しています。また、定額制社外研修制度を設け、社外ビジネスセミナーへの参加も実施しています。

2020年度は、コロナ禍でWEBシステムを活用した社内研修やオンライン英会話を新たに実施しました。また、在宅勤務時や出勤途中、お昼休み等のすき間時間を利用して活用できるeラーニングも導入しました。コンプライアンスやメンタルヘルスの講座など、2020年度は98講座の申し込みがありました。

今後も従業員教育の充実を図り、社会から愛され信頼される企業であり続けるため、従業員の能力向上に努めていきます。

実施月	研修名	研修内容
2020年4月	新入社員研修	新人導入研修（WEBセミナー）、社外安全研修等
2020年7月	営業職研修	与信管理について（社内講師）
2020年7月	製造職研修	安全衛生について
2020年9月	管理職研修	ハラスメント研修（社内講師）
2020年12月	技術研修会	可塑剤について
2021年2月	監督職研修	ハラスメント研修（社内講師）
2021年2月	事務職研修	情報セキュリティ研修（社内講師）
2021年2月	中級者研修	中堅社員の役割と実務（WEBセミナー）
2021年2月	管理職研修	内部統制研修
2021年3月	昇級者研修	管理者の役割と心得、管理職の役割と実務（WEBセミナー）
2021年3月	製造職研修	安全衛生について
2021年3月	新入社員フォローアップ研修	「仕事の基本、職場のルール」と「安全について」
2021年3月	考課者訓練	人事考課の意義や考課者のレベルアップ

昇級者研修



製造職研修



公的資格取得の推進

2012年度に従業員の能力向上と自己啓発を促進するため、公的資格支援規定を策定し、従事業務に主体性をもって遂行できるよう各種公的資格の取得を進めています。2020年度は、国家資格である知的財産管理技能士から、玉掛け技能、フォークリフト運転技能、はい作業技能、有機溶剤作業主任者技能といった職場の安全・衛生向上のための公的資格まで32人が資格を取得しました。

雇用

2006年度に60歳で定年を迎えた従業員に対して再雇用制度を創設し、雇用延長者の知識やキャリアを生かして若年者従業員の育成などを行っています。また、2012年度には年金不支給期間への対応として65歳までの雇用延長制度を確立し、2013年度には雇用延長者に評価制度を導入し、仕事への意欲を向上させるため、シニア制度規定を制定しました。

(人)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
定年退職者数	3	1	3	3
雇用延長者数	3	0	3	3
雇用延長者合計	19	14	10	9

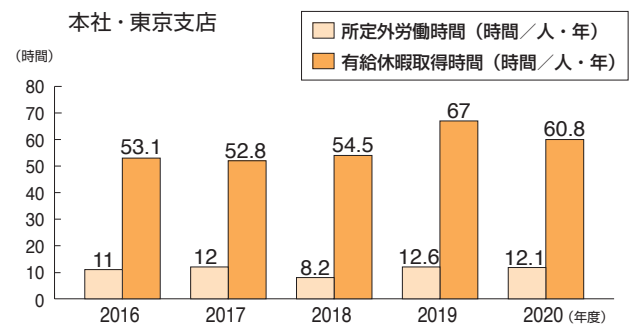
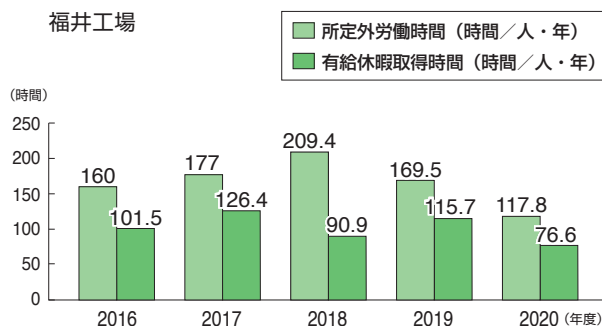
インターンシップ



学生の就業意識の向上や業界研究を手助けする機会を提供し、学生のキャリア形成の支援をすることを目的にインターンシップを受け入れています。2020年度は、福井県の高中生1人が参加しました。また、WEBシステムを利用した1 day企業見学会を実施し、大学院生と短大生の2人が先輩若手社員との交流等を行い、「働くこと」や「会社」に対するイメージが高まった」という意見をいただきました。

ワークライフバランス

仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を目的に、ノー残業デー、最終退出時間の設定と誕生日有給休暇、一斉有給休暇の取得を促進し、総労働時間の削減と長時間労働の撲滅に取り組んでいます。2019年4月に施行された年次有給休暇5日取得の義務化についても全従業員が取得しました。



緊急事態への備え

2016年4月1日より「事業継続マネジメントシステム (BCMS)」の運用が始まり、BCMSに関する教育・研修を継続的に実施しています。2018年12月には、震災や台風などの自然災害、テロなどの人為災害における非常時の従業員の安否確認のため、警備会社の「安否確認サービス」を導入しました。より迅速に従業員の安否が確認できるように日頃からの訓練等を実施しております。

2020年度は以前より営業部門にて使用していたVPN環境を利用し、本社・東京支店の従業員が在宅勤務を実施できるようにしました。2020年に蔓延した新型コロナウイルス感染症の予防対策として主に利用しましたが、自然災害等で出勤が困難な場合にも備えています。



労働安全衛生

カンボウプラスでは、安全衛生パトロールや労使合同で開催する安全衛生委員会を通じて、全従業員が安全で働きやすく、健康に配慮した職場の確保に努めています。2020年度はインフルエンザへの罹患の防止と重症化を予防し、健康の保持・増進を図ることを目的に、「予防接種補助金支給制度」を設けました。

主な活動	事業所
安全衛生管理活動計画表の策定	本社・東京・福井工場
安全衛生委員会の定期開催(労使合同)	本社・東京・福井工場
安全衛生パトロールの定期実施と是正処置	本社・東京・福井工場
新入社員への安全衛生教育の実施	本社・東京・福井工場
定期健診、生活習慣病予防検診、健康相談会の実施	本社・東京・福井工場
マスクの配布、うがい薬・消毒薬の設置	本社・東京・福井工場
ストレスチェックの実施	本社・東京・福井工場
就業時間中の禁煙の実施	福井工場
作業環境測定の実施	福井工場
特殊健康診断の実施	福井工場
安全衛生コンサルタントによる工場パトロール(毎月)	福井工場
安全衛生コンサルタントによる講話	福井工場
冬用タイヤ装着確認	福井工場
産業医による工場パトロール	福井工場
職場ごとのリスクアセスメントの実施及び事例発表(毎月)	福井工場

労働災害発生件数

2020年度は全社で労災ゼロを達成しました。福井工場では、リスクアセスメントや安全教育のさらなる推進、安全衛生コンサルタントによるパトロール・指導などの安全対策を一層推し進めています。

休業労働災害発生件数

2016年度	2件
2017年度	2件
2018年度	0件
2019年度	2件
2020年度	0件

内部通報制度

カンボウプラスは「カンボウ・ヘルプライン」と呼ぶ内部通報制度を設けていますが、2020年度は親会社である「ダイワボウ・ヘルプライン」や社外の相談窓口も増設致しました。2020年度は1件の通報を受けました。

内部情報提供者の保護を図るとともに、違法行為等の早期発見と是正を図り、コンプライアンスの強化と共にハラスメント教育にも努めています。

新型コロナウイルス感染症予防対策

カンボウプラスは、新型コロナウイルス感染症予防対策として、各事業所に消毒液、飛沫感染防止パネル等の間仕切り、非接触式体温計を設置しました。また、マスクの配布や在宅勤務、時差出勤等も継続して実施しています。





ISO26000対照表

ISO26000の7つの中核主題および課題に対して、当CSR報告書に掲載している取り組み内容を対比させました。

ISO26000の中核主題	課題	カンボウプラスの取り組み	ページ
組織統治		企業理念	1
人権	1. デューティリジェンス 2. 人権に関する危機的状況 3. 加担の回避 4. 苦情解決 5. 差別及び社会的弱者 6. 市民的及び政治的権利 7. 経済的、社会的及び文化的権利 8. 労働における基本的原則及び権利	その他の 従業員への教育 かかわり 雇用 ワークライフバランス 内部通報制度	9 9 10 11
労働慣行	1. 雇用及び雇用関係 2. 労働条件及び社会的保護 3. 社会対話 4. 労働における安全衛生 5. 職場における人材育成及び訓練	社会との 小集団活動 かかわり ----- その他の 従業員への教育 かかわり 公的資格取得の推進 雇用 インターンシップ ワークライフバランス 労働安全衛生 新型コロナウイルス感染症予防対策	5 ----- 9 9 9 10 10 11 11
環境	1. 汚染の予防 2. 持続可能な資源の利用 3. 気候変動の緩和及び気候変動への対応 4. 環境保護、生物多様性及び自然生息地の回復	環境との 環境方針 かかわり 地球温暖化防止への取り組み エネルギー消費量とCO ₂ 排出量 廃棄物削減への取り組み PRTR法への対応 環境負荷低減製品開発への取り組み グリーン推進活動	6 6 7 7 8 8 8
公正な事業慣行	1. 汚職防止 2. 責任ある政治的関与 3. 公正な競争 4. バリューチェーンにおける社会的責任の推進 5. 財産権の尊重	その他の 従業員への教育 かかわり 内部通報制度	9 11
消費者課題	1. 公正なマーケティング、事実に即した偏りのない情報及び公正な契約慣行 2. 消費者の安全衛生の保護 3. 持続可能な消費 4. 消費者に対するサービス、支援、並びに苦情及び紛争の解決 5. 消費者データ保護及びプライバシー 6. 必要不可欠なサービスへのアクセス 7. 教育及び意識向上	環境との PRTR法への対応 かかわり 環境負荷低減製品開発への取り組み	8 8
コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	1. コミュニティへの参画 2. 教育及び文化 3. 雇用創出及び技能開発 4. 技術の開発及び技術へのアクセス 5. 富及び所得の創出 6. 健康 7. 社会投資	環境との グリーン推進活動 かかわり ----- その他の インターンシップ かかわり	8 ----- 10

カンボウプラス株式会社

〒541-0054

大阪府中央区南本町1-8-14 堺筋本町ビル

TEL 06-6262-1277 FAX 06-6262-9419

URL <https://www.kanbo.co.jp/>